

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		強い園芸産地育成事業		課名	農業課	事業No.	178
				会計	一般会計		
主要区分		主	記号	事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H27	終了	
根拠	戦略計画						
	分野別計画	地域経済活性化プログラム					
		飯田市農業振興ビジョン					
	法令・例規等						
事業目的		対象	果樹、野菜、花卉等の生産農家				
		意図	生産体制の強化				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	農作業の省力化・効率化及び生産性向上を図るため、推奨品目の苗木導入支援と、果樹野菜の雨よけ施設等の農業施設の整備を支援しました。また、環境負荷軽減及び安定的な農作物生産に繋げるため、土壌診断の実施を支援しました。夏場のハウス内高温対策や新たな栽培技術（Y字仕立等）の実証試験に取り組みました。市田柿では、規模拡大を目指す生産者3名を新たに特認生産者として認定し、生産者育成に取り組むとともに、品質及び生産性向上を図るため、加工機器等の導入を支援しました。長野県茶振興協議会に対する支援を行いました。		花卉品評会褒賞費 県茶振興協議会負担金 果樹、野菜、花卉等生産振興補助金 市田柿生産振興補助金 その他の経費				12 59 10,618 7,528 0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	野菜・花卉苗木導入本数	本	18,500	11,052	18,500	17,492	14,000	10,815	21,400	17,920	
	果樹苗木導入本数(市田柿含む)	本	3,500	4,908	3,500	2,880	5,000	2,550	2,719	3,082	
	果樹・野菜等生産基盤整備件数	件	10	14	10	20	17	20	17	15	
	市田柿加工設備整備件数	件	100	105	100	142	92	93	70	78	
	市田柿特認生産者・中核的生産者数	人	55	55	65	60	55	64	114	67	
	土壌診断件数	件	500	551	500	432	500	549	600	424	
2年度決算(千円)	予算額	22,697	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	18,217	(県)園芸特産振興事業補助金(1/2)								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	9,064								
		地方債	0								
		その他	0								
一般財源	9,153										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	40	1	12,221	10,689	果樹・野菜等振興事業費
2	1	6	1	4	40	2	10,476	7,528	市田柿振興事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		園芸産地として生産量及び園地を維持していくうえで、農家の減少、農業従事者の高齢化の進行が課題となっています。当地域の基幹産業である市田柿に関しても、高齢化による将来的な農家の減少が課題となっています。また、食品衛生法の一部改正により、HACCPに沿った加工工程における品質管理が課題となります。							
上記の課題解決のための有効策		農家減少、農業従事者の高齢化に対応するため、新技術や省力栽培技術を導入し、農作業の省力化、効率化を図っていくことが重要です。また、市田柿はより重要となっていく加工工程の品質管理についての指導を徹底していく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		推奨品種の導入や雨よけ施設等の整備支援、果樹省力栽培技術(Y字仕立)実証実験等により、省力化、効率化を推進します。市田柿は、加工設備等の導入支援や特認生産者制度による中核的生産者の育成を行い、生産基盤の強化に取り組めます。							